

# 北海道ゴルフ旅行 2023



2023年6月

旅のチカラ研究所 植木圭二

ゴルフ仲間たちと北海道へゴルフ旅行に行ってきた。旅行会社のゴルフのパックツアーを上手く利用して2泊3日、3ラウンドの充実したゴルフ旅行になった。

私はかつて何回も北海道ゴルフ旅行をしているが、残念ながらそれらの旅行記は残っておらず、今回はその記録の意味を含めて紹介する。

## ■ハイブリッドな旅行

旅行のスタイルとしては、個人で交通機関や宿を予約するいわゆる個人旅行と、旅行会社が募集する企画旅行つまりパックツアーに大別される。一般的に前者は自由があるが手配が面倒で、後者は自由が制限されることもあるが旅行会社がお膳立てをしてくれるので楽に行ける。これはどちらが良いとか悪いとかではなく、旅行する側の好みの問題になる。そしてどちらも帯に短しタスキに長し的なところがある。

最近ではこれを補完するようにホテルも交通手段も観光もオプションで選べる個人旅行に近い中間的なパックツアーも出てきている。

ゴルフ旅行の場合はその中間的なパックツアーが好ましいというのが、過去に10回以上もゴルフ旅行を経験した私の結論である。そして今回のゴルフ旅行は、自由度を持たせるためにさらにいくつかの工夫をした。

利用したパックツアーは羽田空港と新千歳空港の往復フライトと札幌のホテル、ゴルフ場がセットになったもので、フライトの時間もホテルもゴルフ場も旅行会社指定のリストから選ぶようになっている。これだけでも結構なバリエーションになる。

基本プランはゴルフが2プレーの1泊2日、私はもう1日追加して、旅行会社のリストにないゴルフ場を個人で予約した。自由度を増すためにホテルは素泊まりの連泊にし、送迎バスではなくレンタカーを借りるようにした。送迎バスは何組ものゴルファーを1台のバスに乗せるのでかなり早く着いてしまい、時間を潰すのに苦労した思い出があるからだ。

こうして今回のゴルフ旅行は、いわばハイブリッド旅行とでもいうものにしつらえた。そしてこのハイブリッド旅行は意外に良いことが分かってくる。

## ■初日

私たちは今、羽田空港 8 時 20 分発のスカイマーク便に搭乗して離陸を待っている。それにしても驚くのは月曜日の朝のこの時間のフライトなのに満席になっている。いや、月曜日の朝だから満席なのかもしれない。

快適なフライトを終えて、着陸した新千歳空港でもう一度驚いたのは飛行機からターミナルビルまでがバス移動になっていることだ。スカイマークという小さな航空会社の悲哀かもしれないが、羽田空港ならば分かるが地方空港でバス移動は私にとって初めてで、それほどまでに飛行機がたくさん飛んで来ているのだろう。

レンタカーの手続きではさらに驚く。空港内にあるレンタカー各社の受付は人でごった返している。私たちが予約しているオリックスレンタカーにもたくさんの人が並んでおり、ここからバスに乗って実際にレンタカーを借りる営業所に向かう。オリックスレンタカーのバスは中型で 30 人くらい乗れるが、そのバスが 2 台でピストン輸送をしている。それでも次から次へとお客がやってくるのでなかなか行列が無くならない。

営業所に着くと、たくさんのスタッフがテキパキと大人数のお客に対応している。外の駐車場にはレンタカーが置かれており、その台数は数百台あるだろうか、我が目を疑うというものだ。

飛行機を降りてから約 1 時間でレンタカーに乗ることができ、車を走らせてようやく北海道ゴルフが始まったという気分になる。

初日のゴルフ場は「札幌ゴルフ倶楽部由仁コース」、スタート前にゴルフ場のレストランで札幌名物の味噌ラーメンを食べて、いよいよティーショットになる。

ゴルフ場の景色は、いかにも北海道という感じでもとても雄大だ。その中でも特徴的なことは緑が鮮やかで非常に綺麗だということだろう。

そんなゴルフ場でゴルフをする。プレー内容とスコアについてはここでは触れないでおこう。



【札幌ゴルフ倶楽部由仁コース】

北海道のゴルフ場は9ホールのハーフラウンドが終わっても昼食休憩を取らないスループレーなので、夕方にはゴルフが終了する。

ゴルフ場の風呂に入って風呂上りのビールをぐっと我慢して、札幌のホテルにチェックインする。そしていよいよ繁華街すすきのに繰り出して、生ビールで乾杯しジンギスカン鍋をつつく。至福のひと時とはこういうことを言うのだろう。

## ■2日目

2日目の朝食はコンビニで済ませる。北海道のコンビニといえば「セイコーマート」が有名で、最近ではここの弁当が人気で関東地区にも出店する勢いだ。今回は人気の弁当ではなく、おにぎりを買う。新鮮な具が多く入っているのが特徴で、手作り感があってボリュームもある。

ついでに言うとワインの品揃えの豊富さやリーズナブルな価格も有名で、昨夜はホテルへの帰りでワインを買い込んで部屋で飲んだが、1本500円以下なのに実に美味かった。

この日のゴルフは北海道のゴルフ場の中でも超有名な「ニドム クラシック」、私は何度もプレーしているが、今回のメンバーには初めての人もいたので予約した。

ニドムとはアイヌ語で、豊かな森という意味で、その豊かな森の中にあるゴルフコースのコンセプトは「ビューティフル&タフ」だと書いてある。その表現はちょっと大袈裟かもしれないが、決して間違っていないだろうと感じさせるゴルフ場だ。

ゴルフバッグの積み込み作業をしている若者がいるので、私は「本日のグリーンの速さは？」と聞くと、彼は「9.5です」と答えてくれる。さらに「君、アルバイト？」と聞くと、彼は「そうです、学生のバイトです」と言い、私は「何大学？」と聞くと、彼は「東京の明治大学です」と明るく答える。明治大学のゴルフ部は名門で、多くの有名プロゴルファーを排出している。そこで私は「じゃあ、ゴルフ部？」と聞くと、彼は「はい、明大ゴルフ部で、短期アルバイトで東京からやってきて働いています」と言っている。

まだ夏休みにはないので、週末を利用して数日間のアルバイトで、このニドムの森の宿舎に泊まっている。恐らくお客が来る前の早朝や、夕方にはコースチェックと称して練習ラウンドをしているのだろう。何と羨ましいことか。

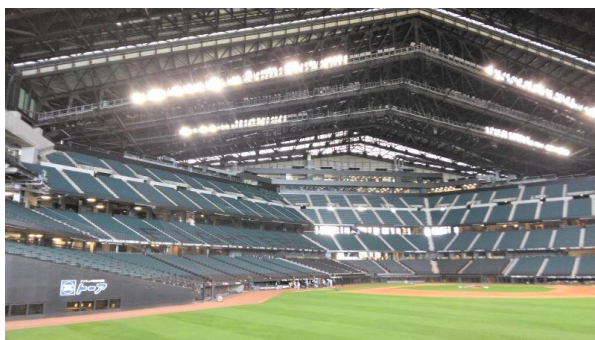
明大ゴルフ部の若者からエールを送られて、私たちは森の中のゴルフコースを堪能する。スコアはぼちぼちだが、コースを歩くだけでも気持ちが良い。ここで高スコアまで望んだらゴルフの神様に叱られるとか言いながら、十分にゴルフを楽しむことができた。

ゴルフを終えて札幌に戻る途中、今回の旅行で是非見てみたいと思っていた「エスコンフィールド」に立ち寄る。この施設はプロ野球の北海道日本ハムファイターズの本拠地として今シーズンから開業し、その斬新なデザインや設備が注目を浴びている。

本日は試合が無いのに観光バスが何台も来ている。確かに従来の野球場のイメージから逸脱しており、外観は図書館やイベント施設のような造りをしている。しかし中に入ると綺麗な野球場があって多くのレストランもある。もはや野球場を越えた集客力抜群の施設になっている。



北海道日本ハムファイターズでプレーしていた大谷翔平の言葉が壁に刻まれている。そこには「好きなことをより一層頑張れたら、毎日良い1日になるんじゃないかと思っています」とある。いかにも野球大好きな彼らしい言葉だ。好きなことと仕事を一致させることが成功の秘訣というのは松下幸之助の思想に通じる。



【上はエスコンフィールドの外観、左下はバックネット側、右下は外野のスコアボード】

そして今夜もまた、すすきので一杯やることになる。友人から聞いていた北海道料理の人気店「古艦帆来 (ころぼっくる)」にやって来るが、まだ5時過ぎなのに予約で満席のために入店すらできない。やはり人気店は予約していないといけないと反省しきりだ。

それでもすすきのは各種飲食店が多いので、近くの海鮮料理店に入る。ハッカクの刺身、活北寄貝を注文する。

ハッカクという魚は大きなヒレを付けており見た目はグロテスクで、八角形のような形からハッカクと呼ばれている。北海道でも小樽近海でしか獲れない高級魚で、脂がのって濃厚な旨味がぎゅっと詰まった白身魚だ。

深海魚なので1年中食べることができるが、漁獲量が少ないので滅多にお目にかかれない。



【ハッカクと活北寄貝】

### ■3日目

最終日のゴルフ場は、旅行会社のリストになく私が独自に予約した「随縁カントリークラブ恵庭コース」だ。帰りのフライトを考えて空港の近くで、価格と評価がそこそのゴルフ場だったので軽い気持ちで予約したが、実際にプレーしてみると実に良くて感激してしまう

雄大な白樺の林の中に造られた比較的平坦な綺麗なコースで、整備状況も良く、池やバンカーの配置も良く出来ている。プロのトーナメントが開催されるようなコースとっていいだろう。



【随縁カントリークラブ恵庭コース】

人は期待していないことや偶然で予期せぬことに出会い感激すると感動が何倍にも増幅される。その反対に期待していたのにそれほどでもない場合や、期待を裏切られると落胆する。

この現象を私は「偶然と感動、期待と落胆」という持論にしており、私が旅を企画する時にはこの効果を得るためにいくつかのサプライズを用意するようにしている。

このゴルフ場はその作戦が当たったようで、今回の3つのゴルフ場の中で一番良かったと同行メンバーたちも言っている。それゆえ、「来年もまたこのゴルフ場でプレーしたい」などと言う声も聞こえてくる。

空港で北海道最後の食事として、スープカレーを食する。スープカレーはもちろん美味しいが、それを引き立てる北海道限定のサッポロクラシックの生ビールが実に美味しい。私は北海道に来ると必ずこのビールを飲むが、いつ飲んでも裏切られたことがない。

帰りのフライトも満席だ。旅の疲れか CA の明るい笑顔が癒しになってか、半分くらいの乗客はすやすやと眠っている。

爽やか北海道ゴルフだったが、羽田空港に降りた途端に蒸し暑い空気に包まれる。これはまた来年も北海道ゴルフ旅行を実施したい気持ちになる。

## ■旅の記録

実施は2023年6月26日（月）～6月28日（水）の2泊3日、その内容を以下に記す。

- ・1日目 羽田空港8時20分発のスカイマーク便で新千歳空港9時55分着、オリックスレンタカーでレンタカーを借りて10時50分出発、11時30分に「札幌ゴルフ倶楽部由仁コース」到着、ゴルフ場レストランで昼食を食べて12時14分スタート、ゴルフ終了後レンタカーで札幌に行く「ホテルリソル札幌 中島公園」に18時チェックイン、すすきのの「キリンビール園」でジンギスカンの夕食
- ・2日目 7時30分にホテル出発、途中のセイコーマートでおにぎりを買って朝食「ニドム クラシック」に8時30分到着  
9時20分イコロコースのカムイをスタート、5分の休憩の後アシリを回り、14時にゴルフ場を出て、エスコンフィールドに立ち寄り、ホテルに16時30分帰着、すすきのの海鮮料理店「海へ」で夕食
- ・3日目 6時にホテル出発、松屋で朝食、「随縁カントリークラブ 恵庭」7時30分着、8時03分スタート、ゴルフ終了後にレンタカー営業所で返却  
14時に新千歳空港に着き、空港内の「キタカレー」でスープカレーの昼食、16時15分新千歳空港発のスカイマーク便で羽田空港着

1人分の総費用は約10万円になった。正確には103231円で、全国旅行支援のパックツアーの割引が2泊で10000円適用され、現地クーポン券の2泊分4000円を使用したのので、全国旅行支援がなければ約12万円だったことになる。詳細を以下に示す。

- ・旅行会社払い込み 48880円（1人当り、阪急交通社ゴルフパック使用）  
本来は58880円だが、全国旅行支援で10000円引き
- ・道内交通費 7206円（1人当り）
  - レンタカー 14850円（3日間、ホンダフィット1台）
  - ホテル駐車場 2200円（2泊分）
  - 高速道路 2230円
  - ガソリン代 2340円（14.72リットル）
- ・ゴルフ費用 27145円（1人当り）
  - 札幌ゴルフ倶楽部由仁コース 3513円 ゴルフ利用税と昼食・ビール
  - ニドムクラシック 9470円 諸経費、ゴルフ利用税、カートフィーなど
  - 随縁CC 恵庭コース 14160円 パック料金に含まれておらず※札幌ゴルフ倶楽部由仁とニドムクラシック基本的なプレー費用はパック旅行料金に含まれているが、随縁CCはパック旅行と無関係に予約していた
- ・食事 約14000円（1人当り）

キリンビール園	約 3500 円 (1 人 4000 円の旅行支援適用後)
海へ	約 5500 円
キタカレー	約 3000 円
その他飲食	約 2000 円 (コンビニなど)
・その他費用	約 6000 円 (1 人当り)
羽田空港までの往復交通費、ゴルフ宅急便など	